

第14号

平成31年2月15日発行

# ないえ 議会だより

発行 北海道奈井江町議会 / 編集 広報常任委員会



おもいやり明日へ

Kindness for Tomorrow

主な記事

第4回定例会報告	.....	P2
<b>町政</b> ここを問う（一般質問）	.....	P3~P5
賛否あり・JA視察	.....	p6~P7
常任委員会報告	.....	P8~P9
浦臼町との交流会・各種委員会報告・傍聴規則改正	...	P10



<http://www.town.naie.hokkaido.jp/gikai/>

奈井江町議会

検索

## 第4回定例会で審議された議案 .....

# 台風により被災した公共施設等の修繕 地域交流センター(道の駅)の指定管理者の指定

第4回定例会は12月21日から26日まで開催され、提案された条例や補正予算、指定管理者の指定、人事案などすべてを可決しました。

その結果、平成30年度一般会計予算の歳入歳出総額は50億9,635万円になり、その他1件の意見書を可決し閉会しました。

### 【議案審議結果】

補 正 予 算	平成30年度一般会計補正予算(第3号)の専決処分の承認を求めることについて (台風による公共施設等の災害復旧に745万円追加)	全会一致
	平成30年度一般会計補正予算(第4号) 歳入歳出に7,759万円の追加 (道道の維持管理費1,533万円、定住対策補助金3,320万円、人事異動・ 人事院勧告による職員費1,829万円追加等)	全会一致
	平成30年度町立国民健康保険病院事業会計補正予算(第2号) (看護体制の変更や人事院勧告に伴う職員の人件費267万円追加等)	全会一致
	平成30年度下水道事業会計補正予算(第2号) (公債費の減、消費税の減額確定に伴う繰入金の97万円減額等)	全会一致
指定 管理 者の 指定	条例 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 (人事院勧告に伴う給与・期末手当の改正)	全会一致
	特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例 (人事院勧告に伴う期末手当の改正)	全会一致
	公の施設(道の駅)に係る指定管理者の指定について ※詳細は6ページに掲載	賛成多数
諮 問	人権擁護委員の推薦について (平成31年3月31日にて任期満了となる堀 則文氏の再任及び中野忠雄氏 の後任に萬 孝志氏の選任に同意)	全会一致
会 議 案	奈井江町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	賛成多数
	奈井江町議会委員会条例の一部を改正する条例 (平成31年5月1日より議会運営委員会の定数を1名減の4名とする)	全会一致

### 【意見書審議結果】

意 見 書 名	提案者
日米物品貿易協定交渉に関する意見書	竹森 毅議員

上記の意見書は全会一致で可決し、衆参両院議長、内閣総理大臣ほか関係大臣に提出しました。

# 町政 ここを問う

12月定例会では3人の議員が**一般質問**を行いました。

学校給食の無料化について

**「第1子から…」の期待にどう応えるか**



町長 第6期まちづくり計画(後期)策定時に検討



三浦きみ子

多子世帯の保護者からは大変喜ばれており、ぜひ第1子からという期待も高まっているが、次年度以降、どのように考えているか。

三浦

町は子どもの健全な発達と、子育て支援を定住促進につなげるという目的で、29年度からは第3子以降、30年度からは第2子以降と、段階的に無料化を進め

町長

保護者や児童生徒にとって必要な支援、優先すべきことなど、財政状況も勘案し、第6期まちづくり計画(後期)策定時に町民と十分議論を交わし、検討することが必要と考えている。

**生活保護基準の引き下げによる**

**就学援助基準について**

教育長

30年10月に生活保護基準の引き下げが行われたが、

「できる限り従前の基準を適応するように」という文科省の通知を考慮していきたいと考えている。

地域防災の取り組みについて

**町内会館に発電機を！  
支え愛名簿の早急な整備を！**

町長 発電機は第6期まちづくり計画(後期)の中で整備

三浦

胆振東部地震に伴う全道の停電で、復旧が遅れた南町地区では「町内会館での充電や炊き出しがあったら」という声が強かった。

充電用だけでなく、避難所のストーブやトイレ用の電源としても会館に発電機の配備が必要では。

また、災害時要援護者名簿の早急な更新が待ったなしの状況と思うが。

町長

地域会館への発電機設置について、当面は現有機材を活用し、第6期まちづくり計画(後期)において、年次計画で検討したい。

災害時の支援に活用する「支え愛名簿」は、更新事務に課題があり、現在、住民基本台帳システムを活用した改善を検討している。個人情報の取り扱いの方法などを整理し、本年度内の整備の予定で進めている。

**役場職員の女性幹部育成と登用について**

町長

現在、主幹以上の管理職22人中女性は4人(18%)、32年までに30%以上をめざす。

東京の自治大学や滋賀県の国際文化アカデミーへの研修に参加させている。

後期5カ年計画に向けて

# 財政状況の認識

## まちづくり計画

町長 極めて厳しい環境にある



森岡新二

### 森岡

奈井江町の財政状況と、今後のまちづくり計画について4点伺う。

- ①現在の財政状況の認識
- ②来年度予算編成の基本方針
- ③前期5カ年実施計画の変更や見直しは
- ④来年度策定される、財政

推計を伴う後期5カ年の実施計画は、奈井江町にとって重要な位置づけになると認識しているが、町長の見

解は。

### 町長

①これまで多くの社会資本整備をしてきたが、道路・水道・下水道を含めた施設が更新時期を迎え、さらには、人口減少が進む中で、地方交付税の低迷など市町村財政は極めて厳しい環境に直面している。

近年の予算編成でも、歳出財源不足を財政調整基金繰入金に大きく依存し、ここ数年基金残高が減少している。

過去からの延長線上で対応策を議論するのではなく、将来の危機と、その危機を克服する姿を想定した

うえで、取り組むべき課題を整理していきたい。

- ②③「第6期まちづくり計画」と「まち、ひと、しごと創生総合戦略」で掲げた目標の達成を念頭に置き、長期的視点に立ち、新年度予算編成を行う。

また、現状を踏まえながら、前期実施計画の変更や見直しを慎重に判断する。

- ④まず10年間の基本構想の再確認とともに、前期計画

### 町民参加のまちづくり

## 町政懇談会のあり方は

町長 新たな仕組みを加えたい



の積み残しや新たな課題を集約・検証していく。

その上で、所信表明で話した各種取り組みを実施していくが、財政状況をしつかり見通しながら、計画を策定していく。

### 森岡

- ①町長が町政に対し掲げた3項目の理念のひとつに「住民自治」があるが、町

長が描く住民自治とは

- ②町政懇談会は2年に一度、町長始め幹部職員が地域に向いて直接町民の声を聞く重要な取り組みだ

が、今年のように、開催後3ヶ月も経ないうちに、任期満了による町長選挙となる現状には課題があると考える。

### 町長

- ①「奈井江町まちづくり自治基本条例」の原点に立つことが重要で、基本理念のひとつ「住民自治」に関し、これまで町として、まちづくり町民委員会を始め、町政懇談会や区長会議等で意見を伺ってきたが、現在の仕組みも時間の経過とともにその価値観が希薄になってきていると感じる。

町民がこれまで以上に参加できる機会を設けるなど、新たな仕組みを加えていきたい。

- ②開催方法や時期も含めて、町民委員会などで意見を聞きながら検討する。

第6期まちづくり計画について

## 前期実施計画の評価は



町長 効果は表れているが、財政に不安



大矢雅史

大矢

第6期まちづくり前期実施計画は4年目であるが、町長の評価を伺う。

31年度には後期実施計画を取りまとめることになるが、前期計画の検証、評価が重要であり、広く意見を求めるためにも、評価結果の公表が必要と考えるが。後期計画策定に向けて町民の意見をどのように求めていくのか。

町長

子育て支援策等と複合的に行ってきた移住・定住対策等、効果が表れていると考えているが、財政状況も考慮しなければならぬと感じている。

評価方法については、現在は、まちづくり町民委員会で事業の評価として議論されているほか、各担当課で、個別事業のまちづくり計画推進管理表を作成し、自己評価をしているが、公表を目的とした仕組みにはなっていない。

各事業に関する目標の設定、評価、公表のあり方等今後の課題として検討したい。また町民の意見把握については、まちづくり自治基

本条例に基づき、住民参加で進められるよう準備を進めていきたい。

大矢

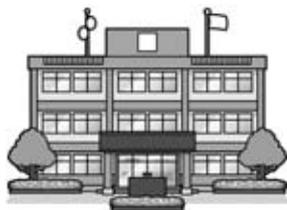
財政状況は当初計画よりは好転している。財政状況の問題とは。

評価はしているが、公表を目的としていないという事であるが、後期計画に反映できるよう早急に取り組む考えは。

町長

財政計画よりは好転しているが、基金を取り崩して運営する計画であり、将来的に不安が残ることは事実である。これを踏まえて後期計画にのぞみたい。

管理表の評価も含めて見直すよう指示をした。町民にわかりやすいように示していきたい。



役場庁舎等の個別施設計画策定状況について

## 施設計画は後期計画に

## 反映されるのか

町長 32年度に策定し、まちづくり計画に反映する

大矢

公共施設等総合管理計画に基づいた施設ごとの管理

町長

橋梁、公営住宅、公園の長寿命化計画は策定済みで、まちづくり計画に反映している。

役場庁舎をはじめとする他の施設は32年度の策定を目指している。

厳しい財政状況が続く中で、総合的な財政議論のもとに判断が必要と考えている。町民ニーズをとらえた選択をし、長期的な視点をもって事業費の平準化を行い、まちづくり計画に反映させたい。

大矢

32年度の策定では、後期計画に反映できないのは。

町長

優先順位の高いものは、後期計画に盛り込んでいきたい。

# 地域交流センター「道の駅」の指定管理者の指定について

## 【提案概要】

### ◇指定管理者の名称

特定非営利活動法人「日本一直線道まちづくり研究会」

### ◇期間

平成31年4月1日から平成36年3月31日まで

### ◇管理業務の範囲

- ① 駐車場を含む施設の維持・管理
- ② 「道の駅」スタンプリーに関する業務
- ③ 施設の利用許可
- ④ 施設の利用料金、收受、利用状況の集計と町への業務報告
- ⑤ 自主事業
- ⑥ 上記業務に付随する業務

### ◇町から支出する管理費用

8,587万5千円（5年間）

## 【反対論】

# 町提案に賛否あり

石川正人

町のホームページには「指定管理制度の効用は、行政にとつて、施設の管理に要する人員の削減や経費の削減が認められることが大きな利点」と書かれている。

また、この制度の目的は、民間活力の導入による、管理施設のサービス向上と経費削減にある。

財政状況が厳しい中、現状の管理費用で採算が取れている事業に、行政の積算根拠により、5年間で1,734万5千円もの増額は、指定管理制度の効果や目的に沿っているとは思われず、町民の納得も得られない。よって反対する。

## 【賛成討論】

森岡新二

30年4月から1年間指定期間を延長した中で、管理者が計画書に基づき、どれだけ努力をしてきたかが重要で、行政としても評価をし、私も公募の資格があると判断した。大事なことは、施設の設置目的に沿った運営を目指して、管理者がどう努力するかという点であり、選定された団体に指定することに賛成する

## 【賛成議員】

大関、竹森、遠藤、笹木、森岡、大矢



## 議会運営委員会

(10月17日)

### ペーパーレス化で新砂川農協視察

議会運営委員会は、平成30年から「理事会」の会議でペーパーレス化（資料を画面からタブレットに切り替える）を進めている新砂川農協を訪問し、お話を聞きました。

システムは、1台のパソコンと、会議室のWiFi設置、通信機能付きタブレット端末12台（非常勤役員用）、WiFi機能のみの端末13台（常勤役員用）で構成されています。

一般の議案は、各部署で作成された書類をデータファイルで受け取り、事前に電子メールでタブレットに配信します。

農家への融資案件など守秘義務のある議案は、強力なパスワードで保護され、会議室のみで閲覧できます。

驚きなのは、このペーパーレス化のコストで、導入費用は、機器の購入費80万円、非常勤用タブレット端末の年間通信費14万円（これは、毎年かかる）のみとのこと。

システムソフトを自前で開発することで、100〜200万円の運用経費を削減できているとのこと。

近年、ペーパーレス化を導入する地方議会もありますが、民間のクラウドシステムを利用しているため、運用に毎年4

# 人事院告に伴い議員の期末手当 0.05カ月分引き上げ

## 【提出議員の補足説明】

竹森 毅

議員報酬については、人事院勧告や特別職の措置、財政状況などを鑑みながら見直してきた経過がある。  
本年度においては、人事院勧告、特別職とのバランス等を考慮し、期末手当の支給月数を0・05カ月分引き上げの事を提案する

## 議員提案に

## 賛否あり

三浦きみ子

## 【反対討論】

議員報酬や手当は人事院勧告とは関係なく、議員提案をもとに、議会が自主的に決めることができ、その判断基準は、町民の納得が得られるかどうかにある。

減り続ける年金や、実質賃金低下のもとで、苦しいやり繰りを強いられている町民の理解を得るには丁寧な説明が必要。

当町議会では活性化の取り組みを進めてきたが、議員歳費や手当についても、腰を据えて検討し、その結果を町民に提案し、理解を得る努力が必要と考える。

したがって「人勧が引き上げの方向」とか、「近隣の町も上げている」という理由で引き上げることには反対。

## 【賛成討論】

森岡新二

今回の提案は、人事院勧告に基づく改正であり、近隣市町議会の状況も踏まえた中で、当町議会においても期末手当に関する部分について改正すべきと判断する。

町民への説明も重要だが、町財政全体を考えた中で、議会費や議員報酬のあり方という大きなくりで議論すべきであると考え

る。  
本案は人事院勧告に伴う改正であるので賛成する。

## 【賛成議員】

大関、竹森、遠藤、  
笹木、森岡



00万円もかけている場合もあります。

## ペーパーレス化の長所と短所

### 【長所】

1. 紙の使用は、ゼロにはならないが、かなり減る。
2. 議案の印刷コストや手間が減る。
3. 議案の配達をしなくてもよい(特に、冬期間は大変なこともあった)。
4. 議案がカラー化され、見やすい。
5. 過去の議案の検索が容易。

### 【短所】

1. 議案を2か所同時に見られない。
2. 議案にメモをとりづらい。

### 視察を終えて

議会改革や活性化が叫ばれている現在、会議のペーパーレス化も、取り組まなければならぬ課題だと考えています。

身近な農協のこのシステムは、議会としても非常に参考となるものでした。

新砂川農協視察



# まちづくり 常任委員会 所管事務 調査報告

## 林道の維持管理と 鳥獣対策について

### 鳥獣対策の取り組みの 更なる強化に努めて

#### 調査内容

- ① 林道の維持管理・作業路の現状
- ② 委託業務、京極線開設事業の進捗状況等
- ③ 有害鳥獣捕獲実績、駆除許可実績、エゾシカ対策

**問** 農村西地区でも鹿の被害が年々増加しているが実態調査や、対策が必要では

**答** 西地区では電気牧柵や、銃器の使用は難しい状況にあるが、地先の方にワナの資格を取得いただきたい。その際にかかる経費は一部助成し、捕獲後の対応は町で行う。

**問** 電気牧柵の老朽化に伴いリフレッシュ基金等での更新が必要では  
**答** リフレッシュ基金で随時、地区ごとに更新を行っている。

#### 【委員会からの意見・要望】

林道は、水資源のかん養、洪水や土砂災害の防止、地球温暖化防止など、多面的機能を有する森林の整備、保全のためにも重要である。

森林の整備は長期的な事業であり、今後も林道の適正な維持管理に努めていただきたい。

鳥獣被害では、近年エゾシカ、ヒグマ、特定外来種のアライグマなどの出没範囲が広がっていることが報告された。

被害防止策として、延長36・6kmの電気牧柵の設置、砂川市との広域による協議会の運営などに取り組んでいるが、今後も地域の声や実態を把握し、関係する課と十分な連携を図り、鳥獣被害防止策の取り組みの強化に努めていただきたい。

## 公園の維持管理について

### 計画的な管理 修繕に努めて

#### 調査内容

平成29年度公園維持管理契約状況、公の施設に關わる指定管理者の指定について

**問** 遊具の点検状況は

**答** 公園の他に東町5区の遊園地、児童館、学校、こども園、道の駅も含め20カ所となり104基を委託し、年2回の点検を実施。委託料は14万400円。

#### 【委員会からの意見・要望】

公園の遊具については、公共施設等総合管理計画に基づき計画的な管理、修繕に努めていただきたい。

また、公園等環境美化ボランティア推進事業では、多くの住民の方に参加していただけるよう望む。

**問** 新規事業の公園等環境美化ボランティア推進事業で、なかよし公園を守る会へどのような支援を行ったのか

**答** 今年度は、用具の貸し出しはないが、消耗品として軍手、草刈機の燃料代、替え刃を提供した。



## 母子保健事業について

### 安心して子育てができる環境づくりの強化を望む

#### 調査内容

第6期まちづくり計画との関連性について、保健活動、母子保健施策体系と実績・考察等

**問** 思春期教育は、中学校全学年で実施しているが、高校からの要望は

**答** 高校の要望に沿って、各学年で、「何を伝えるのか」を協議し、実施している。

**問** すこやか健診の結果、中高生では4人に1人と精密検査比率が高いが、フォロー状況は

**答** 当町の基準が厳しいこともあり比率が高めとなっている。

精密検査対象者となった子どもには、保護者を含めた個別相談の他、検査の依頼書と回答書を渡し受診勧奨を行っているが、受診率は約半数

程度の状況であり、今後も受診率向上に努めていきたい。

#### 【委員会からの意見・要望】

母子保健事業は、個別の相談、指導、支援を行い子育ての環境づくりにつなげており、定住対策の大きな柱となっている。

町内外から高く評価されている「すこやか健診」は子どもたちの健康保持に大変有意義な事業である。

中学校や商業高校で実施されている「思春期講話」は、正しい性の知識、意識の普及を図るうえでも重要な事業であり、保護者や学校関係者の理解と協力のもと、両事業とも更なる充実に努めていただきたい。

今後も、安心して子育てができる環境づくりの強化を望む。



## 医療保険事業について

### 所管する課と連携し安定的な運営に努めて

#### 調査内容

国民健康保険・後期高齢者医療について  
①被保険者の状況  
②医療費等の状況

**問** 今後、がんの治療薬が保険適用になると、高額医療となるが今後の見通しは

**答** 医療技術の高度化により診療費が高くなると思われる。

今後、医学の進歩と併せて診療報酬がどのように変

わるかわからないが、医療費増加の要因のひとつと考えている。

#### 【委員会からの意見・要望】

医療費については、少子高齢化や医療技術の高度化等により、増加傾向となっている。

国民健康保険事業が、本年度から都道府県化されたが、今後も少子高齢化が進展することから厳しい財政運営が見込まれる。

保険税賦課のあり方、被保険者の健康保持など、所管する課と連携し検討を進め、安定的な運営に努めていただきたい。



# 委員会報告

11月13日発行の  
第4回の委員会を  
開催のため

## 広報常任委員会報告

10月17日・12月17日  
今後の議会のあり方  
第4回定例会の議会運  
営について

## 議会運営委員会報告

12月26日  
一部事務組合等の議会  
報告について

12月21日  
第4回定例会の議会運  
営について

12月20日  
指定管理について

12月14日  
第4回定例会の議案説  
明について

12月11日  
議員報酬について

## 全員協議会報告

# 第1回定例会(予定)

■日程 3月4日(月) ~ 3月15日(金)

■場所 役場3階議事堂

どなたでも傍聴できます。  
お気軽にお越しください。

問合わせなどは議会事務局まで



65-2166



gikai@town.naie.lg.jp

発行 奈井江町議会  
編集 広報常任委員会

委員長 三浦きみ子  
副委員長 森岡 新一  
委員 遠藤 共子  
竹森 毅



# 浦臼町議会との交流会

11月17日、奈井江町役場大会議室において、浦臼・奈井江議員交流会が開催され、空知振興局産業振興部の齋藤暢浩農務課長から「国際農業交渉をめぐる状況」と題して、①WTO全体の動向、②EPA・FTAの動向、③TPP協定についてなど、豊富な資料を基に、多国間の貿易自由化をめぐる現状と問題点についてお話をいただきました。

講演後の質疑では、農村出身議員を中心に、今後の北海道農業への影響や、生き残りへの展望について鋭い質問が相次ぎました。

## ※議会の傍聴規則が変わりました

今までは議場入口で、住所・氏名を受付簿に記入していましたが、個人情報保護の観点から、今後はひとりずつ「受付票」に記入し、受付箱に投函して頂くようになりました。

平成31年3月・第1回定例会より適用されます。

傍聴人受付票	
年 月 日	
住所	
氏名	
年代	10代・20代・…… 50代・60代・……



表紙の1枚  
1月30日「はぐくみ」の子どもたちが「うどん作り」に挑戦しました。

## 編集後記

はや、2月半ばを迎え、農家では、メロンの播種作業やトマトの移植の準備にと多忙な時期を迎えております。  
12月定例会では、町提案、議員提案のそれぞれ1件につき、賛否両論の討議がありましたので、議会だより6から7ページに特集しました。  
今後とも、町民の皆さんに興味を持って見ていただける紙作りに心がけてまいりますので、よろしくお願いたします。